

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年7月24日

埼玉県四半期経営動向調査（令和8年4～6月期）の
結果について

埼玉県では、県内中小企業2,200社を対象に四半期ごとに経営動向調査を実施しています。このほど、令和8年4～6月期（調査日：令和8年6月1日時点）の調査結果を取りまとめました。

今回は、景況感等に関する定例の調査に加えて、「雇用者数の過不足感」、「サーキュラーエコノミーの認知度や取組状況等」及び「取引先金融機関の貸出姿勢」についても調査しました。

● 調査結果のポイント

定例調査

- ✓ 県内中小企業の景況感
「県内中小企業の景況感は、持ち直しの動きがみられる。」
「先行きについては不透明感がみられる。」
 - ✓ 全業種の景況感DI*は、▲38.4となり、前期比で0.7ポイント減少し、2期連続で悪化した。
 - ✓ 製造業では、▲40.0となり、前期比で0.5ポイント減少し、2期連続で悪化した。
 - ✓ 非製造業では、▲37.2となり、前期比で1.0ポイント減少し、4期ぶりに悪化した。
 - ✓ 全業種の売上げDI及び資金繰りDIは2期ぶりに改善、採算DIは2期連続で悪化した。また、設備投資実施率は2期連続で減少した。
 - ✓ 来期（令和8年7～9月期）の景況感の先行きDIは、▲29.3と、前期比で▲16.6ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。
- * 調査対象企業に自社が属する業界の景況感について「好況である」と回答した企業割合から「不況である」と回答した企業割合を差し引いた指数。

<参考：景況感DIの推移>

	当期DI (R8.4-6)	前期比 (R8.1-3)	前年同期比 (R7.4-6)	来期見通しDI (R8.7-9の見通し)	前期比[前回調査] (R8.4-6の見通し)
全 体	▲38.4	▲0.7	+6.3	▲29.3	▲16.6
製 造 業	▲40.0	▲0.5	+9.8	▲29.4	▲20.5
非製造業	▲37.2	▲1.0	+3.5	▲29.2	▲13.7

特別調査

- ✓ 雇用者数の過不足感について、「適正」の回答割合が60.8%と最も高かった。また、6年連続で「不足」が「過剰」を上回った。
- ✓ 今後の雇用者数の見込みは、「ほぼ増減なし」が72.8%、「増加見込み」が14.4%、「減少見込み」が12.8%であった。
- ✓ サーキュラーエコノミーについて、「取り組んでいる」と回答した企業の割合は8.4%、「関心はあるが取組に至っていない」が17.1%、「聞いたことはあるが、関心はない」が15.9%、「聞いたことがなく、関心がない」が29.2%、「分からない」が29.4%であった。
- ✓ 取引先金融機関の貸出姿勢について聞いたところ、85.7%の企業が「ほとんど変わらない」と回答する中、「厳しくなった」は5.3%、「緩やかになった」は8.9%であった。

◆調査の概要◆

- ・ 調査方法：書面によるアンケート調査、業界団体及び個別企業へのヒアリング調査
- ・ 調査対象期間：令和8年4～6月期（調査日：令和8年6月1日時点）
- ・ 調査対象業種及び回答数

	対象業種	対象企業数	回答数	回答率
アンケート調査		企業	企業	%
	製 造 業	9 6 0	6 6 1	6 8 . 9
	非 製 造 業	1 , 2 4 0	9 1 2	7 3 . 5
	計	2 , 2 0 0	1 , 5 7 3	7 1 . 5
ヒアリング調査		団体・企業		
	製 造 業	3 2		
	建 設 業	3		
	小 売 業	1 0		
	飲 食 店	1		
	情報サービス業	3		
	運 輸 業	1		
	サ ー ビ ス 業	2		
	計	5 2		

調査結果については、以下のホームページアドレス（埼玉県四半期経営動向調査のページ）を御覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/doukou.html>

※ 県内事業者の景況感等のデータを分かりやすく掲載した「埼玉県四半期経営動向調査データサイト（以下「データサイト」といいます。）」を県ホームページに開設しております。

データサイトは以下のバナーをクリックしてご覧ください。

